

会 議 の 経 過

開 議 午前10時00分

令和6年9月11日（第2日目）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ただいまから決算審査特別委員会を開きます。

ただいまの出席委員は全員です。定足数に達しておりますので、会議は成立しました。

これから本日の会議を開きます。

ここで、審査の方法についてお諮りいたします。

本委員会に付託された7件の決算認定の審査は1件ごとに行い、その後、決算全般にわたっての総括質疑を行うことにしたいと思っておりますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の審査は1件ごとに行い、その後、決算全般にわたっての総括質疑を行うことに決定しました。

お諮りいたします。

討論は本会議で行うものとして、本委員会での討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、認定案件ごとに行いたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

異議なしと認めます。

よって、本委員会の討論は省略し、採決は総括質疑を行った後、認定案件ごとに行うことに決定しました。

本委員会の日程は、あらかじめお手元に配付のとおりです。この日程で進めることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

異議なしと認めます。

したがって、この日程で進めることに決定しました。

直ちに本日の日程に入ります。

質疑または答弁に際しましては、お手元に配付しております令和5年度主要成果報告書をご参照いたします。

なお、会議規則第53条に基づき、質疑、答弁に当たっては簡明なご発言により議事の進行にご協力いただきますようお願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

日程第1、認定第1号、令和5年度平泉町一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題とします。

会計管理者の説明を求めます。

村上会計管理者。

会計管理者（村上可奈子君）

認定第1号、令和5年度平泉町一般会計歳入歳出決算についてご説明を申し上げます。

初めに、決算の特色等について申し上げたいと思いますので、お手元の主要施策成果報告書7ページをお開き願います。

決算の概況について申し上げます。

収支決算の状況は、表が示すように1,000円単位で申し上げますと、歳入決算額は50億4,996万1,000円、歳出決算額は48億4,748万6,000円で、歳入歳出差引額は2億247万6,000円となっております。

なお、翌年度に繰り越すべき財源は343万5,000円で、実質収支は1億9,904万1,000円でございます。

単年度収支は、令和5年度の実質収支1億9,904万1,000円から令和4年度の実質収支1億8,753万3,000円を引いた額となりますが、これが1,150万8,000円となり、積立金が9,494万6,000円、繰上償還金がゼロ円、積立金取崩額は1億5,298万5,000円でございますので、令和5年度の実質単年度収支は4,653万1,000円のマイナスとなりました。

次に、決算規模でございますが、令和3年度を100とした場合と比較いたしますと、指数で歳入が82、歳出が81となります。率で対前年度歳入で3.2%、歳出で3.6%と、それぞれ減少しております。

次に、財政構造の状況でございますが、財政力指数は令和3年度0.31、令和4年度0.30、令和5年度は0.30となっております。

続いて、8ページをご覧ください。

経常収支比率でございます。令和5年度は94.2%となり、令和4年度と比較すると0.9ポイントの増となっております。

次に、経常一般財源比率でございます。この比率は100%を超えるほど歳入構造が弾力的であると言われております。当町の場合は令和5年度101.4%と、昨年度に比べ1.1ポイントの増となり、臨時財政対策債、減収補填債特例分を経常一般財源に加えた経常一般財源比率は101.9%と、令和4年度よりも0.5ポイントの増となっております。

それでは、決算書の3ページ、4ページをお開き願います。

令和5年度平泉町一般会計歳入歳出決算書、初めに歳入でございます。

収入済額、不納欠損額、収入未済額の順に読み上げ、款項同額の場合は項の額でご説明いたします。

なお、不納欠損額及び収入未済額がゼロ円の場合は、読み上げを省略させていただきます。

1 款町税 8 億5,050万6,387円、37万3,903円、632万538円。1 項町民税 2 億9,530万2,795円、20万7,061円、236万8,280円。2 項固定資産税 4 億4,497万9,079円、13万2,500円、376万6,259円。3 項軽自動車税3,244万1,100円、3 万4,342円、18万5,999円。4 項町たばこ税6,892万5,313円。5 項入湯税885万8,100円。

2 款地方譲与税6,684万8,000円。1 項地方揮発油譲与税1,576万9,000円。2 項自動車重量譲与税4,754万1,000円。3 項森林環境譲与税353万8,000円。

3 款利子割交付金、1 項利子割交付金15万2,000円。

4 款配当割交付金、1 項配当割交付金165万3,000円。

5 款株式等譲渡所得割交付金、1 項株式等譲渡所得割交付金193万8,000円。

6 款法人事業税交付金、1 項法人事業税交付金1,158万7,000円。

7 款地方消費税交付金、1 項地方消費税交付金 1 億8,270万1,000円。

8 款環境性能割交付金、1 項環境性能割交付金407万円。

9 款地方特例交付金385万4,000円、1 項地方特例交付金385万4,000円、2 項新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金ゼロ円。

10款地方交付税、1 項地方交付税22億4,068万4,000円。

11款交通安全対策特別交付金、1 項交通安全対策特別交付金85万4,000円。

12款分担金及び負担金。

5 ページ、6 ページをお開き願います。

1 項負担金1,857万9,680円、ゼロ円、4 万4,296円。

13款使用料及び手数料3,741万9,292円、ゼロ円、45万9,200円、1 項使用料3,351万6,307円、ゼロ円、45万9,200円、2 項手数料390万2,985円。

14款国庫支出金 4 億9,732万9,187円、ゼロ円、3,975万1,000円、1 項国庫負担金 2 億683万7,424円、ゼロ円、584万3,000円、2 項国庫補助金 2 億8,171万3,486円、ゼロ円、3,390万8,000円、3 項委託金877万8,277円。

15款県支出金 3 億712万1,207円、ゼロ円、221万2,987円、1 項県負担金 1 億215万1,514円、2 項県補助金 1 億7,772万6,162円、ゼロ円、221万2,987円、3 項委託金2,724万3,531円。

16款財産収入3,207万9,074円、1 項財産運用収入2,551万8,706円、2 項財産売払収入656万368円。

17款寄附金、1 項寄附金3,741万4,156円。

18款繰入金 2 億1,609万8,370円、1 項特別会計繰入金420万円、2 項基金繰入金 2 億1,189万8,370円。

19款繰越金 1 億9,106万1,765円、1 項繰越金 1 億8,753万2,765円、2 項繰越事業費充当財源繰越金352万9,000円。

20款諸収入 1 億1,977万4,467円、ゼロ円、67万7,249円、1 項延滞金加算金及び過料 8 万7,360円、2 項町預金利子9,437円、3 項貸付金元利収入2,650万223円、4 項受託事業収入23万4,138円、

5 項雑入9,294万3,309円、ゼロ円、67万7,249円。

21款町債、1 項町債 2 億2,790万円。

22款自動車取得税交付金、1 項自動車取得税交付金33万6,777円。

歳入合計、収入済額50億4,996万1,362円、不納欠損額37万3,903円、収入未済額4,946万5,270円、うち繰越充当額未収入特定財源につきましては3,946万7,987円となっております。

次に、歳出でございます。

9 ページをお開き願います。

支出済額、翌年度繰越額の順に読み上げ、款項同額の場合は項の額でご説明申し上げます。

なお、翌年度繰越額がゼロ円の場合は、読み上げを省略させていただきます。

1 款議会費、1 項議会費8,442万9,095円。

2 款総務費 7 億5,511万1,622円、1,395万3,000円、1 項総務管理費 5 億9,774万9,215円、2 項徴税費8,368万6,589円、3 項戸籍住民基本台帳費4,452万2,225円、1,395万3,000円、4 項選挙費2,004万9,699円、5 項統計調査費795万7,781円、6 項監査委員費114万6,113円。

3 款民生費11億9,749万8,931円、1,771万円、1 項社会福祉費 7 億7,755万5,553円、1,771万円、2 項児童福祉費 4 億1,994万3,378円、3 項災害救助費ゼロ円。

4 款衛生費 4 億7,170万7,111円、1 項保健衛生費 3 億1,446万5,404円、2 項清掃費 1 億5,724万1,707円。

5 款労働費、1 項労働諸費99万6,696円。

6 款農林水産業費 3 億4,026万9,327円、1 項農業費 3 億580万9,171円、2 項林業費3,446万156円。

7 款商工費、1 項商工費 1 億4,959万8,747円。

8 款土木費 4 億5,744万3,348円、1 項土木管理費3,031万1,872円、2 項道路橋梁費 1 億8,716万6,407円、3 項河川費2,468万9,536円、4 項都市計画費 1 億5,299万8,757円、5 項住宅費6,227万6,776円。

9 款消防費、1 項消防費 2 億1,983万5,572円。

10款教育費 6 億5,761万2,377円。

11ページ、12ページをお開き願います。

1 項教育総務費 1 億491万9,871円、2 項小学校費 1 億5,115万3,154円、3 項中学校費7,238万5,824円、4 項幼稚園費3,218万6,626円、5 項社会教育費 2 億7,029万978円、6 項保健体育費2,667万5,924円。

11款災害復旧費6,149万3,471円、1,414万円、1 項土木施設災害復旧費5,103万4,294円、966万8,000円、2 項農林水産施設災害復旧費1,045万9,177円、447万2,000円。

12款公債費、1 項公債費 4 億5,148万9,563円。

13款諸支出金、1 項普通財産取得費ゼロ円。

14款予備費、1 項予備費ゼロ円。

歳出合計、支出済額48億4,748万5,860円。

翌年度繰越額4,580万3,000円。

歳入歳出差引残額 2億247万5,502円。

以上、ご審査のほどよろしくお願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

これで説明を終わります。

これから質疑を行います。

発言の際は、決算書のページをお示し願います。

13ページ、令和5年度平泉町一般会計歳入歳出決算事項別明細書の歳入をお開きください。

初めに、13ページ、14ページの1款町税についてご発言願います。

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

高橋でございます。

13ページ、14ページ、町税の関係ですが、令和5年度の決算審査意見書を見ますと、収納率の向上で、現年課税分と滞納繰越分を合わせた徴収率が県内一になったと、このように記されているわけでございます。

私、初めてこの議場に登壇をした平成27年度決算審議の中で、どのようにして徴収率を上げるのだということの質疑をさせていただきました。その中で、町側の答弁は、平成27年度から徴収に当たっては今までのやり方を変えて、何回でもお邪魔して意気込みを見せながらやっていくのだと、このように述べられました。また同時に、法人税額の増に向けて企業誘致などの取り組みを一層やっていかなければならないと、このように述べられておったわけでございます。

ご案内のように、法人税は企業誘致と表裏一体のものでありまして、当然、そこには雇用が生まれますし、人口減少対策としても一役を買っていくということになります。さらに、町民税はじめ、他の税収増にも直結するだけに、その後の決算委員会においても、同僚議員を含めて、それぞれ節々で町の努力などを称揚をしてきたという経過がございます。

この令和5年度の決算は、この間の役場の役職員の目的意識と、それに裏打ちをされた努力の積み上げの通過点として見るができるというふうに思います。早くからこの徴収率の問題や収入未済額の減額の問題を呼びかけてきた議員の一人として、今回の歳入については高く評価をするものであります。

そこでお伺いをするわけですが、この令和5年度決算の成果を到達点とするのではなくて、あくまでも通過点というふうに位置づけることが極めて大事であろうというふうに思います。引き続き、新たな滞納者を発生させない取り組み、さらには収入未済額削減に向けた取り組みの柱を、今から8年前、県は3本の柱を立てて呼びかけましたけれども、町としても、その柱を改めて明確にして、広く町民の理解、協力を促す取り組みを展開していくことが必要だなというふうに考えるものですが、いかがでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

委員のご質問の中で、徴収率が県内で1位、宮古市と同率のタイというようなところで、令和5年度につきましては0.1ポイント増加というようなところで、令和4年度につきましては2位でございましたので、一ランク上がったというような取り組みとなっております。

そちらにつきましては、コンビニ収納ですとか、電子機器による納付が開始されているというようなことで、利用についても大変順調でございまして、夜間及び休日においても納付可能となったというようなことから、納税交渉についても時間がなく納められないという場合の対応が可能になったというようなあたりで、収納ツールを増やすことなどから、期限内納付を推進してきたところでございます。

税務課といたしましては、歳入確保の観点から申し上げますと、収入未済額の圧縮及び期限内納付になお一層努めてまいりたいというふうに思っております。滞納を減らし、納税を促すことは、滞納整理を行うことはもちろんでございますが、個々のお宅へ出向いたり、電話で直接ご本人とお話しすることなど、長期間の大口の滞納になる前に計画的な納付を促していくことが大切であるというふうに考えてございます。

また、預金調査、相談内容から生活困窮などが考えられる場合につきましては、早期に相談をつなげるなど、支援の対応を取ってまいりたいというふうに思っております。

令和5年4月1日からは、納付書にQRコードを登載いたしましてスマートフォンによる納付が開始されてございます。収納ツールを増やすことにより、今後も期限内納付を推進してまいりたいというふうに思っております。

引き続き、滞納者の実情に応じた搜索や執行停止等の実施、新たな滞納者を発生させない取り組みを進めてまいりたいと考えてございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

平成27年以降、この8年間にわたって取り組んできた実績、方法、手段といたしますか、そういうものにはしっかり自信を持って役場職員の皆さんに当たっていただきたいというふうに思いますが、一方で不納欠損額がずっと残ってきているわけです。不納欠損処理をできる条件というのは4項目、たしかあったというふうに思うのですが、そういったものを、不納欠損を出さないためにも、徴収に当たっての、今までの実績を踏まえた新たなこういう取り組みをしっかりと柱として位置づけて前に進んでいこうと、こういうことが、今、ここまで来れば必要になってきているのではないかと。それだけでなく、自主財源が依存財源に比べて極めて少ない、25.4%でしたか、それぐらいですから、どうやって自主財源をしっかりと確保していくか。それは、もちろん企業誘致もそのとおりのことですが、そうではなくて、町民ときちんと向き合う中で町民の理解と協力を得る、こういうことが極めて大切なのだと思いますから、今、この場で今後取り組む柱を示せということは申し上げませんが、方向性として、今までの経験に裏打ちされた新たな方策というものを考えていくことが、不納欠損額をさらに減額をすることになりますし、収入

未済額の減額に、ひいてはつながっていくということになると思いますので、しっかりと対応していただきたいと思います。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

町税についてです。成果報告書の32ページであります。

ただいま、前段、発言ありましたけれども、収納率が上がったという点では非常にいいことだと思います。同時に、不納欠損が固定資産税で前年はあったのですが、今回は町民税のほうであったということで、その件数と内容、理由というか、その辺をお願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

不納欠損額の町民税の内容というようなご質問でございます。不納欠損額個人滞納分につきましては、前年度ゼロ円というところから、20万7,061円というような欠損をさせていただいております。内訳といたしますと、1名の方が地方自治法第15条7第4項執行停止によります欠損ということで18万9,804円、お一方については時効ということで地方自治法第18条第1項によりまして1万1,385円の欠損、1法人につきましては、こちらも時効となりますが、倒産によるものでございますけれども、5,872円の欠損というようなところで、不納欠損処理をさせていただいております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

同じく町民税についてお伺いをいたしますが、収入未済額のこれらの差押えの執行状況ですとか、または分納誓約ですとか、そういったような催告をする状況についてお伺いをしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

町民税収入未済額がございしますが、こちらの内訳といたしまして、現年分が38万7,087円となっております。こちらは普通徴収で12名、14万2,740円、特別徴収で6名、24万4,347円、合計18件となっております。そのうち分納誓約を取ってございますのが9件で19万7,259円となっております。

滞納繰越分につきましては、収入未済額が143万1,193円となっております。普通徴収で38件、122万5,990円、特別徴収で6件、20万5,203円、2年以上滞納されている方については9件ということでございます。

分納誓約につきましては15件ということで119万9,500円、執行停止をかけてございますのが7

件で25万7,000円となっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

もう一点、町民税の法人の部分、14ページの2節の滞納繰越分法人分ですが、これが55万円の収入未済になっておりますが、そんなに動いておりませんが、この状況についてお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

村上税務課長。

税務課長（村上可奈子君）

こちらについては、法人が営業していた施設が老朽化していたところに、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、現在営業停止中というようなところで、55万円の収入未済が発生しております。この内容につきましては、岩手県滞納整理機構と個別検討会において今後の対応方針なども検討させていただきながら、現在、調査交渉を行っているというところがございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、15ページから19ページまでの2款地方譲与税、3款利子割交付金、4款配当割交付金、5款株式等譲渡所得割交付金、6款法人事業税交付金、7款地方消費税交付金、8款環境性能割交付金、9款地方特例交付金、10款地方交付税、11款交通安全対策特別交付金についてご発言をお願いします。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ありませんか。

（「なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、19ページから23ページまでの12款分担金及び負担金、13款使用料及び手数料についてご発言をお願いします。

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

20ページの12款1項1目4節児童クラブ利用料金であります。この収入未済1万5,000円ありますが、これも昨年度決算から動いておりませんが、これは不納欠損になる可能性というのはあるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

1万5,000円の収入未済額ですが、これにつきましては昨年度とは別に、昨年度の部分につきましては既に収入済みであり、今回の1万5,000円につきましては昨年度のものというふうなことになりますが、これにつきましては既に今年7月に納付済みになっているところでございます。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

20ページの13款1項3目1節町営住宅使用料ですが、過年度分が19万5,100円で、収入未済額が合計で45万9,200円になっていますが、これ過年度分プラスだと思うのですが、多くなっている要因と、これ何件分なのかお願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

住宅使用料の収入未済額の増についてですけれども、未納額の方で収入超過者の方がいて、昨年度より増になった状況でございます。45万9,000円は8人ございまして、今現在では3人に減りまして23万3,300円となっております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、23ページから35ページまでの14款国庫支出金、15款県支出金についてご発言を願います。

小埜寺委員。

1 番（小埜寺享君）

小埜寺です。

35ページ、36ページの15款県支出金の3項委託金、4目土木費委託金の備考の欄に県道除草委託金というものがあるのですけれども、これの詳細を教えてくださいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

県道の除草委託金についてですけれども、県道の平泉巖美溪線、相川線の県道の除草委託を頼まれているものでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小埜寺委員。

1 番（小埜寺享君）

それ以外は頼まれていないという考えでよろしいですか。例えば、県道一関北上線とかというのは入っていないのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

一関北上線は入っておりません。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小埜寺委員。

1 番（小埜寺享君）

その2路線ということですが、多分面積割りで除草されると思うのですけれども、その合計面積を教えてください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

今、資料を持ち合わせておりませんので、後刻でお願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小埜寺委員、後刻の答弁でよろしいでしょうか。

1 番（小埜寺享君）

はい。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

14款、25ページ、26ページになりますが、2項3目1節衛生費補助金の中の出産・子育て応援交付金であります。228万6,000円、成果報告上ですと225万円になるわけですが、差額の分についての内訳をお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉子育て支援課長。

子育て支援課長（千葉光祉君）

出産・子育て応援交付金の差額分でございますが、最初の部分につきましては1人5万円の給付であり、それ以外につきましては事務費、いわゆる伴走型相談支援ということで面談とかをする費用としての事務費ということになっております。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

それでは、15款県支出金ですが、29ページの2項県補助金1目総務費県補助金1節総務費補助金になりますが、これの地域経営推進費、ひかるFMのことだと思うのですが、811万3,000円計上になっておりますが、これが当初予算よりも増額となっておりますけれども、これ町民の反応、評価、その効果についてお伺いをします。

同じく、その下にあります地域少子化対策重点推進事業費補助金2万1,000円がありますが、この内容についてお伺いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

30ページの県支出金、県補助金、1目総務費県補助金の中の地域経営推進費811万3,000円のご質問でございますが、これは4事業に対する補助金となっております。今、お話のありましたひかるFMに対する補助は入っておりません。この4件につきましては、スパルタキャンプ等のデジタル人材育成事業に対して666万6,000円、関係人口創出拡大事業のふるさと住民カードに関わる交付金補助金が26万5,000円、観光客受入れ態勢整備事業の毛越寺駐車場看板の改修に対して102万円、酒田市との文化交流都市事業としまして事業の開催費に対して16万2,000円、合計811万3,000円となりますので、当初申し上げましたとおり、FMの分については入っていないということになります。

それから、もう一点の1つ下の地域少子化対策重点推進事業費補助金でございますが、こちらにつきましては、栗登一平と言われます栗原市、登米市、一関市、平泉町4市町合同で婚活事業を行っておりますが、これに対しての県からの補助金、4分の3の補助というふうになってございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、35ページから39ページまで、16款財産収入、17款寄附金、18款繰入金についてご発言願います。

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

35ページの16款財産収入1項1目1節の財産貸付収入ですが、その中の土地貸付収入が昨年度より増えているような気がして見ていたのですが、これの要因と、それから、もう一つは同じく2項財産売払収入、3目生産物売払収入が600万円ほどあるのですが、これの内容についてお知らせをください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

決算書36ページの財産収入の土地貸付収入が、令和4年度と比較して増額になっているということでございますが、こちらにつきましては、小金沢地区に設置しております太陽光発電所用地賃借料が、前年度は6月分であったのに対し、令和5年度から12か月分となりました。一月当たり109万5,384円ということで、なぜ令和4年度は6月分になったかといいますと、当初の貸付けにおいて一括で収めていただいて、令和4年10月から再び四半期ごとに賃借料を受け付けるというような、そういう契約としていたということが原因でございます。

あとは、生産物の収入につきましては県行造林の関係でございますので、農林振興課長、お願いいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

決算書36ページの財産売却収入の中の1節生産物売却収入の642万4,000円でございますが、こちらにつきましては、1つは県行造林の売払い収入で285万円、場所については大文字の北側の県行造林の伐採の売払い収入というふうになっておりますし、もう一件が、官行造林の売払い収入ということで356万4,000円、場所は戸河内の馬場広滝地区、衣川沿いの部分の国有林、官行造林の売払い収入というふうになってございます。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

材木も非常に今、低迷していると騒がれている中で、利益は何ぼで契約していたものか、そこあたりは話すことができればお聞かせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

県行造林につきましては県で契約落札しているというところですし、官行造林につきましても国のほうで落札契約というふうになっておりますので、単価という部分につきましては、今のところ情報は仕入れておりません。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小笠原委員。

1番（小笠原享君）

37ページの17款寄附金ですけれども、2目の企業版ふるさと寄附金で、当初予算が3,000万円あって、補正予算で3,000万円引いて、結局はゼロということになっているわけですけれども、この理由を教えてくださいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

38ページの企業版ふるさと寄附金につきましてですが、当初3,000万円を見込んでおったところでございます。これにつきましては、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しているところでございますけれども、これの実施に関わる事業に対して企業側から町に寄附を頂ける制度ということになっておりまして、その用途については、現状のところ、平泉町では志業支援事業ということで、スパルタキャンプや志業シェアハウス、スタートアップオフィスだったりという起業を目指す方々への支援、それから、もう一つがバイオレジリエンス研究所の活動に対する寄附金を、今、募っているところでございますが、結果として、実績としてなかったということでございますので、令和5年度はゼロということになってございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

38ページの1節一般寄附金の内訳をお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

一般寄附金でございますので、個人の寄附等もありまして、今、詳細の内容は個別にいろいろとございます。個人情報で寄附をされた方で公表してほしくないというような方もいらっしゃるわけですので、そういう意味からも、個人の寄附というふうに受け取っていただければというふうに思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

全部、これは個人だけのものですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

資料を調べてからお答えしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

後でよろしいですか。

7 番（真籠光幸君）

はい。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、39ページから46ページまでの19款繰越金、20款諸収入、21款町債、22款自動車取得税交付金についてご発言願います。

小笠寺委員。

1 番（小笠寺享君）

39ページの20款諸収入ですけれども、収入未済額が67万7,249円あるのですけれども、その内訳を教えてくださいというふうに思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

諸収入の収入未済でございます67万7,249円の内訳になりますが、こちらにつきましては、昨年度から学校給食費を公会計にしたというようなところもございまして、そちらのほうの未納額が66万5,460円が未納となっておりますし、また、そのほか長島体育館に設置してございます自動販売機の電気使用料につきましては、そちらの未納分が1万1,789円となっております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

42ページの4節雑入ですが、その中の市町村振興協会市町村振興交付金181万6,000円、その下の振興助成金622万2,000円、宝くじだと思うのですが、これそれぞれの充当された事業名の内容をお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

42ページ、雑入の中の市町村振興協会市町村振興交付金のほうでございますけれども、181万6,000円、こちらにつきましては、宝くじのうちハロウィンジャンボの売上げの交付金となりますが、用途につきましては道の駅の経費に充当をしているところでございます。

それから、もう一件の市町村振興協会市町村振興助成金のほうにつきましては622万2,000円、これは宝くじのうちサマージャンボ宝くじの収益の交付金となりますが、これはエピカの運営事業費に充当しているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

続けて、その下の同じく雑入の建物災害共済金が807万6,070円、これの大まかな内訳を、支給された内訳についてお知らせいただけますか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

大まかな内訳ということでございますが、過年度において雪害によって雨どい等が壊れたというような学校等の建物の損害に係る建物共済費が、後年度において交付されているというようなところを主なものとしております。修繕に関する建物の補償となっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前 11 時 02 分

再開 午前 11 時 15 分

決算審査特別委員長（升沢博子君）

再開いたします。

先ほどの小埜寺委員からの質疑に対しまして、建設水道課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

先ほど、県道除草の内訳というか、面積についてでございますけれども、先ほどの答弁で2路線と言いましたけれども、県道の三日町瀬原線が1つありまして、3路線ということで訂正のほうをお願いしたいと思います。

面積についてですけれども、まず平泉巖美溪線が1万1,994平米でございます。次に一関平泉線でございますけれども、3,036平米でございます。次に三日町瀬原線でございますけれども、9,988平米でございます。すみません、相川線も訂正をお願いします。一関平泉線、相川線が訂正で、一関平泉線でございます。

（発言する声あり）

建設水道課長（小野寺敏彦君）

一関平泉線です。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、先ほどの真篋委員からの質疑に対しまして、総務課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

先ほどご質問いただいた決算書38ページの17款寄附金の一般寄附金の77万円の内訳でございますが、調べましたところ、こちら県南街商協同組合の理事長から2件、トータル6万3,000円、今のは露天商の関係です、平泉でお祭りが行われたときの露天商の売上げの一部を寄付していただいたのと、それから、もう一つが平泉町と健康増進事業で連携協定を結んでおります明治安田生命保険相互会社岩手県南支社から70万7,000円の寄附を頂いており、こちら広報平泉で掲載しているという内容でございます。失礼いたしました。

もう一件が、決算書の42ページの4節雑入の建物災害共済金807万8,070円のおおよその内訳でございましたけれども、一番大きいのが平泉中学校の令和3年度における雪害、この雨どい等の修繕、屋根修繕に係る分が721万826円でございます、その他雪害等につきましては、平泉小学校、町営テニスコートクラブハウス、戸河内コミュニティセンターとなっております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

それでは、これより歳出に入ります。

47ページから49ページの1款議会費についてご発言願います。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、49ページから65ページまでの2款総務費、1項総務管理費についてご発言を願います。

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

60ページ、12節委託料ですが、ここに地域おこし協力隊業務委託料1,400万円ほどありますが、これの内容をお知らせいただきたいと思うのです。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

60ページの12節委託料の中の地域おこし協力隊業務委託料でございますが、これは3名分の合計額となります。令和5年度において活動いただきました3名分となりますが、まず、お一方が山内隊員でございますが、この方はプログラミングという特殊な業務ということになりますので高度業務に位置づけられておまして、この方の報酬部分が330万円、活動費が150万円、合わせて480万円となります。それから、もう一方は新井隊員でございますが、新井隊員につきましては報酬部分が280万円、活動費が200万円、合計は同じく480万円となります。それから、河野隊員でございますが、河野隊員についても報酬部分については280万円、活動費は細かくなりますが、199万9,980円ということになりまして、480万円までは20円届かなかったわけですが、実績に応じてこの額となった3名の合計額となります。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

新井さんの部分にあっては、ヤーコンのビールを作る、肥料を作る、様々計画はされたと思っていましたが、1年経過した今になって、どのような成果があったのかお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

まず、成果という部分でございますけれども、ヤーコンビールの試作品については、5月、6月ぐらいに完成しまして、各行政区長さんを通しまして皆さんに試飲していただいたというところがございます。それから、6次化商品としてヤーコンのスムージー、そういったものを作りまして、春の藤原まつりのあたりでしたか、道の駅平泉のほうで販売をしたというところなど、現在、そういったものの商品化に向けて取り組みを行っているというところなどございます。

それから、肥料の部分につきましては、まだ現在試作中というところがございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

ビール醸造したという話もありますし、これは好き嫌いもあるわけですが、将来的に製品化して販売できるめどがあるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

将来的にそういうふうに商品化にしたいというような意気込みで、今、頑張っているところがございます。

ただ、今のところ、すぐに商品化できるというような段階ではないというところがございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

ビールを醸造するというのも、何か聞くところによると、この近辺ではなく、どこか大阪とか、あっちのほうで醸造するのだというような話を聞いていたのですが、将来的に、そういう遠くで大量生産するのなら別として、採算的に合って、ここで販売できるようなものになるのか、ならないのか、非常に私はそのあたりは危惧しています。これは国の通過型のお金で動かしているわけだと思いますが、いずれにしても、失礼なのだけれども、将来的に無理なのかどうかという、金だけつぎ込んで失敗したということがあってはならないと、私はこんなふうに思っていますが、いかがですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

ビールの製造につきましては、平泉町だけではなくて、近隣の酒造会社に交渉して歩いたというような話は聞いておりますけれども、断られたというような状況で、それで、大阪の業者に作っていただいているというようなところがございます。

まず、将来的に向けてですけれども、いずれ、どうやったら採算が取れるかというようなところも研究しながら頑張っていただいているというようなところがございますので、もう少し見届けたいというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉委員。

10番（千葉勝男君）

いずれ、この仕事はお願いしているわけですから、どうこうここで言う話ではないかもしれませんが、やっぱり無駄金にならないように、関係当局としても指導しながら内容的なことを見ながら、成功するように祈っています。終わります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

氷室委員。

4番（氷室裕史君）

52ページの8節、10節の予備費から充用が11万1,000円と7万円とありますけれども、これ不用額が出ています。不用額があるにもかかわらず充用されていますが、その理由をお聞かせ願います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

この予備費充用につきましては、能登半島地震の被災地への職員派遣に係る経費として、それぞれ旅費と需要費等に充用しておりまして、その後、明確に分けるために充用しておりました。最終的に派遣がいつまで継続されるかというようなこともありましたので、充用したところでした。最終的に令和5年度中は2名の派遣で終了しましたが、いつでも対応できるように最後まで残額を残していたという状況でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

高橋委員。

8番（高橋伸二君）

60ページの12節の委託料です。まちの元気情報ラジオ配信事業ですが、これは平成29年度から始めて7年取り組んだわけですが、前半の6年は国の補助金あるいは途中から県の補助金があって、町の持ち出しの金額も少なかったわけですが、令和5年度は880万円を町だけが出資をしているという事業です。この7年間の事業について、費用対効果を町としてどのように見ているのかお伺いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

60ページ、委託料の中のまちの元気情報ラジオ配信事業委託料880万円に関わってのご質問でございます。今、お示しをいただきましたとおり、平成29年度から当初は国の地方創生推進交付金を活用いたしまして実施をしてきているところでございます。この事業名にもありますとおり、まちの元気を内外に発信をすることによって、より多くの皆さんに平泉を訪れていただく、それから、取材等を通して、様々活動をしている町民の皆さんに元気を持っていただくということでスタートした事業でございます。当初3年間は国の2分の1の補助、令和2年から令和4年までは県の地域経営推進費3分の2の補助を頂戴をいたしまして、その補助が終了し、令和5年度は単費で880万円となったご指摘のとおりでございます。

7年間実施をしてきたところでございますが、以前にもテレビの視聴率のようなものが取れるのかというふうなこともありましたけれども、そういった意味では、そういう数字は取れないということで、数字的な部分での効果、評価ということは、その時点ではできないということでしたが、この放送を7年続ける中で、放送事業者の方々からの聞き取りなどもしますと、エフエム岩手の人気番組というのがあるようですが、視聴率は取れないのですけれども、radioというアプリを使ってラジオを視聴できる仕組みもございまして、そちらの登録視聴件数は把握できるということでしたので、そちらを確認しますと、人気番組まではいかないのですが、その次ぐらいの視聴はされているということで、一定の視聴はされているというふうに思っております。

それから、番組への投稿やSNSの発信も非常にさせていただいておりますけれども、視聴者の方々から、放送内容を聞いて平泉を訪れたとか、町民の方から取材の依頼があって、例えば百歳体操とか、本当に地域の小さな行事までも取材の依頼があって、そこも放送されて、非常に励みになったというふうな町民の方からの反応であったりとか、そういったことをいただいているところでございます。

なお、先日報道にもありましたとおり、エフエム岩手の今年度の番組審査会の中でこの放送が取り上げられ、外部委員の皆さんに評価をいただいたというふうなことのお知らせがあったところでございますが、子供たちの取材であったりとか、町民の登場が非常に多いということで好評価をいただいたという報告をいただいているところでございます。

ある意味、県民の皆さんにどれだけ届いているかということも、効果ということについては非常に大きなことだというふうに思っております。他の市町村からも平泉と同じような放送をやりたいということで、今、検討している自治体が増えてきているというお話もいただいております。そういった意味では、先駆けて、今、やっているところではございますけれども、広がりを見せているようなことからすると、視聴されている方々にも一定の評価はいただいているのかなというふうに感じているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

私は、それを否定する材料は何も持ち合わせていませんが、結局この事業が始まった6年間というのは、さっきも言いましたように国の補助や県の補助があったことと、それから、最終年度の令和5年度は町だけの持ち出し880万円でやっているわけです。やらざるを得なかった理由というのは、はっきりしているわけです。ひもつきのお金で、これまでの期間をやりなさいという前提条件があったわけです。だから、嫌でもやらざるを得なかったわけです、880万円を出して。ところが、その880万円の事業費のうち、546万円が電波利用料として消えていっているわけです。そうすると、実質的な事業費として見れば非常に少ない。今、一定程度の視聴者がいるというふうに言われていますけれども、FMラジオの町内の受信者の数と、県内の受信者の数とスマートフォンなどの所持者の数というのを比較する、あるいは汎用度を見たときに、決定的な差があるわけです。課長もいみじくも言われましたけれども、今、このSNSなどを通じて非常に多くの伝播媒体があるわけです。したがって、今日まで取り組んできたことの一定の成果は成果として認めつつも、私は、次の段階に、このまちの元気情報発信事業というのを継続をする必要があるのかどうかということなのです。先ほども、この委員会が始まる前に課長とも少し意見交換をさせていただきましたけれども、中尊寺建立900年事業なり、それらに引き継ぐ事業があるということで、それを見据えた取り組みとして、町の観光客誘致などを含めた様々な強い思いがあるのだというふうに思うのですが、来年度から行う新たな事業というか、これに類似をした事業をやろうとしたときに、ひもつきで、結果はどうあれ何年間か必ずやらなければいけない、というような事業については慎重に判断をしていただきたいというふうに思うのですが、いかがでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

国の事業で始まった事業で、数年間の継続をする必要性があったということをご指摘のとおりでございます。その後において令和5年度は単費で行ったわけですが、これも今、ご指摘をいただきましたとおり、様々な900年に向かっての情報発信という意味合いでやっております。なお、今年度につきましては、金色堂900年の年を迎えたということで、県と新たな情報発信という位置づけで、平泉町の放送のみならず県南局管内の各市町村の情報もその放送の中の3分から5分程度でございますが、情報発信をし、そして、県南の周遊を目指していこうという取り組みとして、今年度も県の3分の2の助成をいただいて実施をしているところでございます。

そういった意味では、事業費もご指摘いただきましたとおり、非常に高額ではありますが、やはり一定の効果을上げていくための継続性というのも一方では必要でございますが、ただ、その際に、令和5年度のように、では単費で880万円を出し続けていくのかというのは、ここはやっぱり議論の費用対効果というふうなお話は当然あるかというふうに思いますので、今年度のように県と相談しながら、あるいは様々な助成も、当然歳入を確保していくということは最大限努

力をいたしますけれども、今、ご指摘のありましたとおり、ひもづけがあって、町として単費でやらなければならないという状況については、当然そこは内容をしっかり精査をして検討していくということが必要ですが、先ほども申し上げましたとおり、収入を極力確保しながら、効果をさらに上げていくようなものにしていきたいというふうに考えております。

来年度は世界遺産登録15周年のイベント、そして、令和8年度は15周年、中尊寺建立落慶供養900年、それから、令和9年が初代清衡公の没後900年ということで、この15周年を挟んで様々平泉にとってはチャンスの時期ということになりますので、収入を最大限、当然確保しながら、効果を上げられるような事業を検討していきたいというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

新たな県の呼びかける事業とタイアップをして進めていくということについて、それはそれなりの対応がされるのだというふうに思うのですが、いつかの予算委員会でもお話をさせていただきましたけれども、SNSを活用した町独自の体制をつくるべきではないかと。特にも地域おこし協力隊の皆さんが来て、そういう体制づくりに取り組んでいるということで、今、ようやく町公式のLINEが開通をしているわけです。県とタイアップをしてやるということになれば、県を含めてこのSNSを使った行政情報の発信体制、それもしっかりとその事業の中で並行して位置づけて取り組んでいくということをぜひ盛り込まれて、本当の意味で、費用対効果が上がるとした効果がある事業につなげていっていただきたいというふうに思います。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

この事業の中では、放送のみならずSNSの発信のほうもお願いをしております、様々な媒体を活用していただいているようで、かなりの、フェイスブックでいいますとリーチ数といいますが、ページビューといいますか、見られた数なども統計としては出ております。事業によって非常にばらつきはありますが、やはり話題性のあるものだったり、興味のあるものというのは非常に数字として伸びておりますので、SNSの活用で当然町としての情報発信も必要ですけれども、こういった民間の視点、それから、放送業者の視点で幅広い情報発信をしていくというのにも必要だというふうに思っております。町としてもホームページを今、リニューアルしているところで、最大限、そのSNSもさらに広げようという努力はしようとしてございます。その辺を、相乗効果が上がるように連携を取りながら事業を展開してまいりたいというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

青木町長。

町 長（青木幸保君）

今、委員からお話しされた部分ですけれども、このFMが、当初国の事業のときはちょうど震災のときです。その事業が、補助金がなくなるということで、これではやれないよなというときに、当時、観光協会等々もですけれども、「何でここでやめるのか、これは必要で、むしろこれからが大事なところだ」と。実際民間の中で取材活動されていて、町民の方々も非常に親しみを持って、委員もご承知のとおり、神社の祭典とか、いろんなところに出かけて、大文字りんごで今度は桃もやるのだとか、そこからまた発信していただいたり、私自身も県内町村歩いて、この前も出ていたと県内各地から声をかけられるようになりました。

世界遺産が県内に3つできたわけですが、それをトライアングルしながら新たな岩手の魅力を発信していこうというような、これは県庁の観光部門としても新たなルートで、今回の金色堂900年をはじめとする、そういった部分を平泉が先頭に立ってやっていく。県の今後の方針等もあるのですけれども、と同時に当時、岩泉で台風6号の災害があったとき、当時の伊達町長でしたけれども、FMの発信で、いろんな道路が寸断される中で災害のときに本当に働いていただいたという、そういう、ねちっこくそのお話をいただいたこともあります。

そういった意味では、通常のことですけれども、今、どういう災害がどのように発生してもおかしくない雨が降る気象状況に、また地震もですけれども、あります。そういったことをトータル的に検討して考えていきますと、FMの利用性というのは、先ほどのSNSとも連携を取りながら、町民に根差して活動していただける、この部分は大事なところですよ。議論の分かれ目でもあるかもしれませんが、でも、今の段階で何とかこれを続けたいなという思いで、それを実践していただいている部分で、私も何度か節目節目に出演させていただいております。そういった意味では、私自身も先頭に立って発信してまいりたいというふうに思います。以下は、先ほど課長が答弁した部分と重なる部分もありますけれども、どうぞご理解賜りたいというふうに思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

50ページの職員手当ですが、時間外手当1,040万5,557円。予算より200万円くらい多くなりました。ノー残業デーの取り組みはどのようにしていますでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

ノー残業デーの取り組みにつきましては、働き方改革の中で、それぞれ職員に制度の内容も事前に伝え、毎週水曜日はノー残業デーということで設定しまして、業務を終えて速やかに退庁するというようなところの呼びかけを行う。その呼びかけについては、水曜日にパソコンの画面に時間になると表示がされる仕組みも含め、私も職場巡回を昨年度も行って、それぞれ状況を確認しているところです。基本的にはそれぞれの職場の管理職、所属長が業務の繁閑を確認しながら、場合によっては忙しい時期もございまして、極力ノー残業デーの実施に向けて取り組んで

きているところでございます。

時間外の増減については、例えば選挙がある年度であるとか、災害とか、コロナウイルス対応とか、感染症の蔓延とか、いろんな要素の中で時間外の増減というのはあるわけですが、やはり職員が健康でそれぞれの力を十分発揮できるような、そういう職場づくりに職員一丸となって取り組んでいるところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

予算書でいえば60ページになるのでしょうか、先ほどのコミュニティラジオに関わるのですけれども、成果報告の24ページ、情報化推進整備のところですが、フェイスブックのフォロワー数が869人から905人。英語版が59人から60人。世界遺産のまちでもあり英語版もつくったのですけれども、伸び悩んでいる。投稿回数はフェイスブックだと83人から116人、英語版は39人から10人に減っているという状況の中で、こういったところをもっともっと強化していかなければいけないわけですが、施策成果にはいろいろ書いてあります。ですが、この取り組みの努力というのはどうなっているのか伺いたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

決算書の60ページの中では事業費としては出ておりませんが、主要成果報告書の24ページのSNSを活用した情報の発信という部分になります。この情報発信につきましては、当町ではフェイスブックの情報発信となっておりまして、英語版につきましては、以前に国際交流員のサムさんがいたときに英語版のほうの投稿をさせていただいたということでございますが、退任されたので、その投稿が今は行われていないというふうな状況でございます。

今のSNSの活用状況を見ますと、フェイスブックだけでは足りないというふうに思っておりまして、新しいホームページを今、リニューアルを進めているところでございますが、それとも連動して、SNS発信につきましても、もっとほかのXであったりとか様々あるわけですが、こちらのほうにも開設をしながら取り組みを進めていきたいというふうに考えております。今、LINEの情報配信も始まったわけですが、この辺も一括で何か連携できないかというふうなプログラミングの可能性も今、地域おこし協力隊と一緒に検討もしておりますので、ホームページの更新とも併せながら、引き続き効果的な情報発信について検討しているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

60ページの12節委託料の浄土の館指定管理料50万円ですが、浄土の館の宿泊数は令和3年で179名、令和4年で418名、そして、令和5年と増えてきているのですけれども、どのような取り組みをしたのかと、担当者が代わるような話も聞いたのですが、ここまで増えたのですが、

大丈夫なのかという部分も含めてお聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

浄土の館の利用宿泊者数の増加の部分だと思いますが、これにつきましては、コロナの影響で下がっていたものが、令和5年度ですとまだ影響はありますけれども、ある程度回復をしてきているというふうな状況で増えているところでございます。今年度においても増えておりまして、その取り組みとしては、以前から課題でありました、もともと素泊まりの施設だったわけでございますけれども、その中で朝食だったり夕食を、町内の飲食店等と連携をしてプランを策定することが課題になっておりましたけれども、昨年度、朝食のみがついたプランや夕食のみのプランを町内の飲食店と連携をしてプランを策定しておりますが、そういったものの利用が増えてきているということでございまして、そういったところで効果を上げてきているというふうに考えてございます。

それから、担当と申しますのは管理人という方のところだと思いますけれども、管理人が2人体制に人が替わるということは報告を受けておりまして、9月からそういう体制でやっておりますが、いろいろ内部の修繕等も自分たちで行ったりというふうなことで、担当課としては、体制は強化をされたのかなというふうに思っているところでございます。体験事業も実施をしていただくことにしておりますので、そういった講座等の開催も含めて、引き続き連携しながら、よりよい施設になるように進めてまいりたいというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

62ページの18節負担金補助及び交付金の中の代替バス運行費補助金ですが、町民の思いでバスを運行しているというか、成果報告書では18ページで、人数は出ていないのですけれども、利用者数をお聞きしたいなと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

62ページの補助金の中の代替バス運行費補助金についてですが、東磐交通が運行しております一関線の補助ということになります。これにつきましては、1日8便の運行がされているものに対しまして補助をしているものでございますが、人数については把握しておりません。もしかすると報告書の中にはある可能性もございますので、後ほど確認をさせていただいてご報告をさせていただければと思います。後刻でよろしいでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

もう一点お聞きしたいところがあるのですけれども、58ページ7節報償費の中の結婚祝金についてですけれども、前年よりも増えているし、金額的な部分と件数もそうなのですけれども、これはやはり婚活事業の成果があるのでしょうか、お聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

58ページの報償費の中の結婚祝金でございますが、3万円の7組分というふうになってございます。前年度は4組でしたので、3組増えたということになりますが、婚活事業を4市町連携の中でやってはおりますけれども、それが直接結婚まで結びついてお祝い金になったものについては、事例としてはございませんが、去年はエピカで4市町合同の婚活をやったのですけれども、その中で町民の方もカップル成立になったということがありますので、そこは今後見守っていききたいなというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

祝い金の3万円ですけれども、できれば現金に切り替えていただくような形というのはできないのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

商品券で3万円を交付しているものでございますが、当初、これを開設する際に、町民同士の方であれば平泉を知り尽くしているということもございまして、多くの方が、一方が町外からというふうなことも多いわけございまして、その際に町内で、例えば食事を取っていただくとか、そういった、町を知っていただくために、外に出て使うというよりは町内でぜひ消費をしていただきたいというふうな思いもございまして、商品券としているところでございます。第1号を町長が交付を直接させていただいたときにも、ぜひこれで町内でおいしい食事でもというふうなこともお話をさせていただいたところでございまして、ぜひこれをきっかけに平泉を知るきっかけになればという思いで、商品券で交付をしているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

暫時休憩いたします。

休憩 午前 11時59分

再開 午後 1時00分

決算審査特別委員長（升沢博子君）

再開いたします。

先ほどの阿部委員からの質疑に対しまして、松本まちづくり推進課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

午前中、阿部委員のご質問の中で、62ページに関わりまして、代替バス運行費補助金の東磐交通で運行しております一関線の利用者についてのご質問がありました。

当路線については、一ノ関駅から長島の陸中箱石までの間の運行となりまして、先ほど申し上げましたとおり、1日4往復、8便運行しております。

昨年度の運行回数は956便で、乗車人数が3,991人となっております。これは平泉から一関の間ですので、平泉町民だけということではありません。区間全ての人数というふうになります。3,991人となりまして、1便当たり平均2.09人の利用となっております。

いずれこの路線については、小学校の通学、それから地域の要望があって継続をしているということがございますので、当面この補助を続けながら、公共交通を維持してまいりたいというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員、よろしいでしょうか。

それでは、午前につきまして、2款総務費、1項総務管理費につきましてのご発言ございましたらお願いいたします。

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

54ページの18節の負担金補助及び交付金でありますけれども、岩手県自治会館設備更新負担金234万3,000円ほどあるわけですが、これの内容についてまずお伺いしたいと思います。平泉だけというわけではないでしょうけれども、19町村ありますから、掛ける19町村だと思いますけれども、その点に関して聞きたいと思います。

もう一つは、65ページの11目地域活力推進費、これは減額補正、なくなってしまったわけなのですが、この点に関してもお聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

決算書54ページの負担金補助及び交付金の岩手県自治会館設備更新負担金234万3,000円の内容でございますが、こちらは岩手県自治会館につきましては平成6年4月に開館された建物で、29年が経過して劣化が進んでいるということで、町村会の寄附金、町村の負担金、自治会館の自己資金を原資に、平成29年から工事を行ってきている中で、所定の負担を行ったというところがございます。

令和5年度に行われた工事の概要といたしましては、大きいもので空調設備が4,411万円、建築工事が5,172万2,000円、今年度に行われた支出の合計が1億727万2,000円の工事が行われたも

のに対する所定の負担金でございます。

もう1点の65ページの地域活力推進費の当初予算に500万円を計上し、その後、500万円の減額を補正し、ゼロとなっているということに関しましては、必要な工事に予算を組み替えて行ったものでございまして、後ほど地域課題対応事業の工事については出てくるのですが、今どちらのほうに振り替えたかというのを確認したいと思います。少々お待ちください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時05分

再開 午後 1時05分

決算審査特別委員長（升沢博子君）

再開します。

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

決算書ではなくて、主要成果報告書の5ページをご確認いただきたいと思うのですが、全部で4行政区に対する工事を行っておりまして、町道戸河内線側溝布設替工事、南沖地区農業用施設修繕工事、矢崎地区農業用施設修繕工事、町道田河津線側溝設置工事、それぞれの工事に予算を組み替えて補正を行っておりますし、またこれは500万円を当初予算として計上してございましたけれども、その後、今の申し上げた4つの工事につきましては当初2つの工事を行い、その後、補正でさらに500万円の予算を直接工事費に補正を行い、地域課題対応事業を推進したというところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

自治会館の設備更新の分でありますけれども、工事内容とか、そういうことは全然、我々も知る由もないわけなのですが、どのような使われ方をやってきたのかというのは、これはもう出しっ放しなのですか。出しっ放しでいいのかということなのですが、お聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩渕総務課長。

総務課長（岩渕嘉之君）

自治会館の先ほど申し上げた工事費に充当して、年度別の工事費資金計画というものが各町村会の構成町村に示されており、総会の中で予算に、それぞれの町村の負担金というものが示され、議決に基づきまして負担金が決まされ、さらにはこの工事に関しましては決算という形で報告があるというふうなところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

委員の皆様に申し上げます。

一問一答となっておりますので、1問ごとの質疑とするようによろしくお願いいたします。

それでは、ほかにごいませんか。

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

58ページの5目財産管理費であります、12節委託料のアスベスト調査委託費、これは今年度の実施箇所はどちらになるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

令和5年度にアスベスト調査を委託したということで、こちらはエピカの開設に伴って、旧平泉町公民館と町立図書館の2施設の調査を行った内容でございます、それに基づきまして本年度は図書館の解体工事を今、進めているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

60ページの6目企画費になりますが、12節委託料、ふるさと住民カードの作成委託になりますが、この進捗と申しますか、内容をお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

60ページのふるさと住民カードの作成の関係でございますが、関係人口の創出拡大という意味で、町と関わる方々を長い期間、何らかの関わりを持ち続けるという意味合いで、ふるさと住民カードというものを作成をしたところでございます。

法令上は住民票を2つに置くということができませんので、それに替わるような仕組みということで、平泉の町民とまでは言いませんが、ふるさと住民という位置づけで、免許証と同等のサイズのカードを作成をいたしまして、申込みのあった方に配布し、そして平泉町にお越しいただいた際とかに優遇措置であったりとか、あとは毎月の広報の配布等をして情報提供をしているところでございます。

今後、これまでスパルタキャンプに参加された延べで140名ほどになりますけれども、そういった方々にターゲットを絞って募集をしたいなというふうに思っておりますが、今カードを持っている方の優遇措置について、各課で検討していただいている段階でございますので、もう少しまとまった段階でスパルタキャンプのOBには周知をするということにしてございますが、現在ではそれ以外の方で8名申請がありまして、交付をさせていただいているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

今日の朝刊に、増田寛也元県知事といいますか元総務大臣が、第二住民票という定義を新聞上に載せておりましたが、ぜひそのような方向に持っていければいいのかなというふうに思います。

その下のプログラミング教室や講座の開催委託料についてお伺いたしますが、今年度の受講料、受講者数についての状況などをお知らせいただけますか。また、それに伴う雇用状況、町内への就職、もしくは移住関連にしてお知らせいただけますか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

60ページのプログラミング講座の委託料に関わってですが、主要成果報告書の15ページをご覧くださいと思います。

これの中段以降になります。②番の一般・高校生向け次世代技術者養成講座スパルタキャンプの開催業務でございますけれども、令和5年度においては、2つの講座を開催したところでございます。最初の講座には11名の参加、2回目の講座には10名の参加があったところでございます。

先ほど申し上げましたとおり、今、開催している講座で第10期というふうになっておりますが、この記載の講座は第7期、第8期となります。今年度、今は2回目やっておりますので、第10期というふうになります。延べ140名ほどが受講したところでございます。

その中で町内に移住された実績は6名となっておりますし、町内企業への就職も約6名となっております。町内で起業を今、目指している方も複数名おります。それから鈴沢スタートアップオフィスに企業としての所在地を置いた方が2名というふうになっておりまして、かなりの数で平泉町と関わりを持って継続していただいているところでございます。

今年度参加いただいているスパルタキャンプ生の中にも、既に来年度、移住をしたいとも検討している方が複数名おりますので、ぜひこの講座を入り口として、関係人口、そして移住につなげてまいりたいなというふうに思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

それでは節を変えて、14節の工事請負費であります。今、課長が答弁された鈴沢のスタートアップオフィスの整備工事の内容について、概況を教えてください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

60ページの鈴沢スタートアップオフィス整備工事費505万6,810円の内訳でございますが、内訳といいますか工事の内容でございますけれども、まずここは男女共用のトイレになっておりましたので、これを男女別にするトイレの工事をしております。具体には、女子トイレを新設する工

事をいたしております。

玄関については引き戸だったものについて、ドアに改修をしてございます。

室内の擦れ違いの引き戸があったわけですが、これもかなり老朽化しておりましたので、そのドアの改修、それから施設の玄関口に当たりますところの看板の設置というふうな内容になっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

スタートアップオフィスの利用規程並びに現況の活用の度合い、今、地域おこし協力隊、全員がその場所で同一に仕事をするのではないと思われるのですが、どのような時間帯で活動をされているのか教えてください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

鈴沢スタートアップオフィスの利用規程につきましては、以前委員からもご指摘がありましたとおりでございまして、これについては整備する必要があるということから、利用規程というふうなことではありませんけれども、利用の手引という形でガイドラインをお示しをさせていただいているところでございます。これによりまして、使用時間も明確にしております、以前は夜中まで活用されている方もおりましたけれども、今は10時までというふうなことで、夜間の利用についても制限をしているところでございます。

地域おこし協力隊の活用については、毎日、誰か彼かがいるということでございますけれども、活動の内容によってやはり外に出られている方も非常に多いですので、常時、中にいるという形ではありませんが、複数人が毎日使っております。

利用状況については、山内隊員にドアのロック、開け閉めをスマートフォンでできるように設定していただいて、その通知が私も見られることになっておりますので、どなたが何時から何時まで利用したというのは把握できるようになってございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

62ページの6目18節の協働のまちづくり交付金の86万5,836円ですが、これの事業実績、内容についてお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

松本まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長（松本英雄君）

62ページの協働のまちづくり交付金の86万5,836円でございますが、これは4件の合計額となっております。

詳細については、主要施策成果報告書の13ページに記載をしておりますので、こちらをご覧くださいと思います。

協働のまちづくり交付金、4件の支出となっております。1つが駅前でのマルシェの開催、2つ目がエピカでの読書のための音楽会、3つ目が男女共同参画サポーターの会によります平泉町出身者の音楽会、最後がスパルタキャンプOBによりますBANG BANG FESTIVALコンサートということで、4件に対して交付をしております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございませんか。

（「なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

進行いたします。

次に、65ページから76ページまでの2款総務費、2項徴税費から、2款総務費、6項監査委員費についてご発言を願います。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、77ページから91ページまでの3款民生費についてご発言願います。

大友委員。

3 番（大友仁子君）

84ページの3目12節委託料で、配食サービス事業委託料86万1,000円があります。

成果報告書の中で、47ページ、高齢者福祉・介護予防サービス実施状況の中に、訪問給食16名で、利用回数が2,460回、86万1,000円とあるのですが、上限もありますけれども、この介護度は決まっていますか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

こちらは、おおむね65歳以上で要支援、要介護ということで、食事の提供、それから見守りが必要な方を対象としております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

介護度はどうでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

要介護度がついていなくても、要支援者ということでも利用が可能となっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

ほかに交通弱者乗車券交付とか緊急通報システムとか訪問理容サービスとかあるのですが、これも同じ条件でしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

同じく要介護でなくても、要支援者の方でもご利用ができます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにご発言お願いいたします。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、91ページから101ページまでの4款衛生費についてご発言願います。ありませんか。

大友委員。

3 番（大友仁子君）

94ページの10節需用費の中に、修繕料が101万3,110円あるのですが、これはどこを修繕したのか。予算額は64万1,000円になっていますけれども、どこの修繕料でしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

保健センターの改修かと思われますが、後ほど調べてご報告いたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

78ページの報償費の中に、福祉行政推進委員報償費148万2,000円ありますが、これは民生委員さん26名に対する額でしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員、先ほどの民生費の中でございましたので。

ほかにございませんか。

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

98ページ、2目予防費です。毎年聞いているようですけれども、成果報告で言えば62、63ページ、検診の率の問題です。

一頃はどんどん上がって高くなったわけですが、コロナ禍になって、長島地区でやらなくなって、今は保健センター1本になったと思いますが、それ以来ずっと下がってきて、若干上がってきたのですけれども、この辺の検診率の上げるための努力といたしますか、その辺はどういうふう

に今なっているか伺いたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

検診受診率につきましては、コロナ禍もありましての横ばいといったところもありますけれども、コロナ禍によって会場を保健センターに集約したことによりまして、土足を可にして動線を一本化するというところで、混み合わないよう、受診者の方が安全に安心して検診を受けられる体制というところに取り組んでまいりました。

今回のコロナのワクチン接種でもですが、体育館などを土足可にしたことによりまして、非常に脱ぎ履きで高齢者の方が戸惑ったり、転倒したりということも回避できているのではないかなと思っております。

場所を移動して、たくさんの地域で実施することも、また受診率を上げる1つかとも思われますが、一本化することで効率的に検診を運営することができている、またコロナが落ち着いてきて、受診する、できる、しやすい環境が整ってきているのかなというところと、引き続き節目無料券の配布、それからLINE等を活用しました検診の受診の実施について周知をするといったところで、引き続き受診率の向上に努めてまいりたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

そうすると、いろいろ1か所のほうが本当に進める側としては楽なのですけれども、長島体育館で今後やることはないという結論的なところなののでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

私が記憶している限りでは実施していたのはしばらく前というか、コロナ禍になる少し前までは長島公民館なども利用していたかと思いますが、やはり土足可にしたことで脱ぎ履きが楽になったというところが、非常に受診者の方には好評を得ているなというふうな感触を持っております。

必ずしも長島でやらないというわけではなく、住民の皆さんのお声も聞きながら、受診率の向上に必要な対策というところで、これから検討してまいりたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、101ページの5款労働費についてご発言願います。

（「なし」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、101ページから111ページまでの6款農林水産業費についてご発言願います。

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

106ページです。1項3目18節負担金補助及び交付金というところの営農継続農業機械支援事業補助金について伺いたいと思います。

令和5年度、そして今、令和6年度ですから、2年目ということに今現在入っています。それでこの2年間、令和5年の決算を終わったところでもいいのですけれども、制度上の課題というか、何か取り組んだ上で見つかったのでしょうか。考えていることありましたら伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

まず、予算上、すぐ枯渇してしまうというような利用状況でございます。その中で、2回目に更新申請なされる方については、今年度については控えていただくというよう、強制ではございませんが、理解をしていただいてご遠慮いただいているというような状況がございまして、その部分が現在、課題であるというふうに考えております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

いろいろ聞いてくると、ほかの課題もあるのかなと思ひまして、1つは見積りの件です。大体、新しい場合は見積り2件だったと思います。そうすると、以前何人かの話もしましたけれども、農家とすれば、長年、機械屋さんというのはお付き合いあって、父の代とか、あるいは祖父の代からずっと同じ機械屋さんという場合もあったりして、そうなるとなかなかそれが障害というかになるという問題がある。それはなぜかという、アフターサービスの問題とか、やっぱり長年お付き合いしているというのは農家の経営状況も分かたり、そういった信頼関係もあるのですよね。そういう点で、この2社の見積りというのは課題があるのかなと思います。

それからもう一つは、例えば春先でも以前ありました。田起こししていて壊れた時点で、すぐ使いたいわけです。そのときに手続き上、契約、申請、交付決定となっていく。そこに時間がかかってしまうということで、もちろん予算の問題もあります。予算がなくなりましたとなれば、もう今年度は駄目ですとなりますから、そういうときには使いたいときに使えないわけです。今、壊れた。新車でも中古でもいいでしょうけれども、次の機械なければ田起こしもできないということがあるのだろうと、実際あったと聞きました。

とすると、そうした点で制度上の見直しか、あるいは運用上の柔軟性というか、柔軟な運用があつていいのかなと思うのですが、その辺は何か考えていますか、伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

確かに、そういう課題ございます。例えば、機械が途中で壊れたので、すぐ必要だというような話は伺っております。

しかし、それを随時、全部受け付けてしまうと、予算がない段階でそういう場合、こちらのほうでも対応できなくなるといったようなところもございますので、その部分についてはご理解いただきたいというふうに考えております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

106ページの18節ですが、収入保険の関係についてでございます。

予算の段階で、この事業の取扱いについては掘り下げた質疑をさせていただきましたけれども、昨年の6月に、町として農業申告アンケート調査を実施しましたよね、これに先駆けて。それで、お伺いしたいのは、1つはこのアンケート用紙の問8番の、青色申告をしたいというふうに答えた農家数というのは幾らだったのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

今年の6月に収入保険についてのアンケート調査を行いまして、905戸に対してアンケート調査しましたが、回答があったのが242戸でございました。

その中で、問8の青色申告してみたいと思ったことがあるというふうに回答された方は19名となっております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

この事業の目的、端的に言えば永続的に営農をしてほしいのだと。あるいは様々な自然災害の中でも、安定的な収入につながる一つの担保といいますか、そういうものとして活用してほしいということが言われたわけですが、令和6年3月、今年3月の確定申告者数を見ても、51戸の農業所得申告者数が、前年度より減少しているのです。中身を見ても、単純に見て白色申告者数が60人減って、逆に青色申告にしたらろうと思われる方が11戸増えていると、こういう状況が見えてくるのです。

そこでお伺いしたいのは、今、青色申告をしてみたいという方が19農家あったということですが、この19の加入希望者で、収入保険に加入できる条件を満たしていない農家数は現時点で幾らですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

すみません。その部分については、把握しておりません。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

情報提供は、昨年だったでしょうか、私のほうからもさせていただきましたがけれども、農林振興課のほうに。収入保険の加入条件が緩和をされて、それまで青色申告の申告経験が2年以上なければならなかった農家であっても、去年の12月からでしたか、1年の実績があれば加入できるというふうに緩和をされたわけです。

私がここで聞きをしたいのは何かというと、令和5年度予算の質疑の段階で、いわゆる2段階方式に分けてこの補助事業を展開するというにしましたわけです。覚えていますよね。現に青色申告をやっている農家については、令和5年度と令和6年度の2年度に限り適用する。さらに、新たに青色申告になった方は2年の経過期間というのが必要だから、令和7年、令和8年を対象にするということでした。ところが、加入できる条件の制度が変わった、緩和されたものだから、それを前倒しできるようになったわけです。

しかし、現実に担当課では、今、条件待ちの方が何人いるか分からないということですから、そうすると、令和5年度の予算審議の中で、あれほど当時の税務課長を含めて答弁をした、青色申告に加入者を増やす、懲遷するための様々な取り組みを行うということが、今、農林振興課の中でなおざりになっているのではないかと。

そういうことが想定をされる中で、令和5年度予算審議の中で確認をされた令和5年、令和6年対象と令和7年、令和8年対象の考え方というのは変わっていくのですかということをお聞きをしたい。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

現在、前は青色申告の期間が2年間必要だったのですけれども、制度改正で1年間の青色申告があればいいというような部分に変わりました。

それに……

（「いいのだ。べつに責めているわけでない。」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

予算審議の過程の中では、町長答弁として、いわゆる白色から青色に申告を懲遷するけれども、どのように推移をしていくか、先の見えない取り組みだと。そういう中では、適用対象する年度についても見直しをしながら、その場合は皆さんに改めて相談をしたいと、たしかこういう答弁をされているのです。

したがって、現に19名の方が青申で収入保険入りたいということを希望していて、成果報告書を見れば4名の方が新たになっているだけだから、この19から4が引かれるのか、それとも19は19で残っているのか分かりませんが、今後の課題として、この残っている方々に対する態勢をどうするのかということと、新たに白色から青に変えるための人たちへの働きかけをどのように進めていくのかと、このことをきちっと明確にしておかないと、来年度もやるわけだから、予算要求されていくわけだから、その考え方をきちっと整理をしておいていただきたい。いずれ、またこれは予算で議論をされることになると思いますからお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

青色申告を希望したいという方が19名おまして、昨年、個別相談会に4名の方が参加されましたけれども、その19名の中に含まれているというふうに考えております。

それから、白色申告から青色申告にどのようにつなげていくかといった部分ですけれども、アンケートの中で青色申告しなかった理由について答えていただいておりますけれども、一番多いのが「青色申告にするほど所得がないから」が64名、「方法が分からないから」ということが32名といったところでございます。

所得が少ないからといって、メリットがないというわけではございません。収入保険に加入しますと、通常の保険であれば、災害の場合に保険が下りるということでございますけれども、災害のほかに、例えば農業者の方が病気で入院されたとか、著しく価格が下落したとか、そういった部分についての収入の保障になりますので、そういったメリットがあるというようなところもお知らせして青色申告していただきたいと思っております。

また、収入保険制度について知っているかというような問合せしたところですが、収入保険を知らないや、それから聞いたことはあるけれども詳しくは知らないといった方が約93名ほどおります。収入保険制度についての周知ももう少し頑張っていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋委員。

8 番（高橋伸二君）

青色申告するほど所得がないという64農家があったということで驚いたのですが、これは税務課の皆さんから情報提供いただいたデータなのでございますけれども、少なくとも令和2年以降、令和6年3月申告まで、白色申告の方で最高額の方というのが一番多いときで2,046万8,000円、一番少なくとも1,656万8,000円、赤字でない方で農業収入がある方で、これぐらいの金額になっているわけです。

ところが、青色申告の方の最高額と比較しても、そう遜色はないのです、白であっても青であっても。いわゆる青色申告が、帳簿処理などを含めて煩雑さがあるということが敬遠をされて

いる理由だと思えますが、今、パソコンがもう大衆化して、そして青色申告用の専用のソフトも安価で販売されている状況の中で、本当に青色申告をして収入保険を活用して安定経営につなげていこうという、そういう意識を醸成していく、そのための取り組みがやっぱり大事になってくるのだらうと思えますので、ぜひ残されております15戸の、取りあえず当面はこの農家の方々に、もう来年から変わるわけですから、3月までに税務署に申告を届出すれば全て入れるわけだから、そういう対応を進めていただきたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

成果報告書の82ページ、観光客、来客も昨年を上回ったということで、売上げも前年を上回っています。ただ、パンとかフード部門は下がっているということで、この辺はどういった要因があるのか伺いたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

パン、フード部門は、大きく下がっているというような感じではないかと思いますが、その他の平泉産ワインなど酒類、そちらの販売のほうが随分伸びてきているというような状況で、全体としては売上げは伸びてきているというふうに捉えております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

せっかく地元産の小麦やパンの売上げが伸びる、そういった支援も必要なのかと思ったわけですけれども、それはまた後ほど。

次に放射性物質の関係がありまして、成果報告書の83ページですけれども、農産物の放射性物質の検査が16件と非常に多くなっていました。この内容はこういったものか伺いたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

春先に出てきます山菜、タケノコですとか、そちらのほうについて個人的に調べたいという方がおりますし、また道の駅に出す際に、安全なものを出したいということで、それで検査を望まれる方がいるというような状況でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

前年度に比べて、急激に増えたというのは何かあったのかなと思ったのですが、その辺は、分からなければいいです。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐々木農林振興課長。

農林振興課長（佐々木元君）

昨年度は7件ということで、倍以上というような数字でございますけれども、安全安心を求める方が多いというような部分かなというふうな認識でおります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、111ページから117ページまでの7款商工費についてご発言願います。

氷室委員。

4 番（氷室裕史君）

117ページの18節負担金補助及び交付金の中の2点あります。

1点目が平泉観光推進実行委員会事業補助金340万円ありますけれども、主要成果報告書の97ページで、主に広域観光推進、受入態勢整備、誘客活動推進事業とありますけれども、その中の誘客活動推進事業の海外プロモーション活動は具体的にどういったことを、誰がどのような形で行っているのか伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

平泉観光推進実行委員会の3つの事業がありますけれども、その中の誘客促進推進事業の中の海外プロモーションということで、今、海外にプロモーションしているのが、台湾とタイに行っております。年に1回ずつですけれども、タイにつきましては現地のインフルエンサーの方がおり、そこを紹介してくれる日本の方いますので、観光推進実行委員会として行っております。台湾につきましては、県と一関市とも共同して、イベントに参加をしてプロモーションしているという状況でございます。

いずれにしても、実行委員会で対応しております。

以上になります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

氷室委員。

4 番（氷室裕史君）

タイのインフルエンサーの方といいますと、お名前とか分かりますか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

リュさんという方です。片仮名しか分からないのです。

資料を持ち合わせておりませんが、その方は日本で言えば福山さんみたいな人気のある方というふうに聞いております。その方がステージ上で平泉をPRして、たくさんの地元のタイの方が来ておられて、そこでの観光PR、もちろん観光パンフレットも配ったり、物販もしているということでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

氷室委員。

4 番（氷室裕史君）

そんな大人気の方のようですけれども、リュさんにプロモーション活動というか、インフルエンサーの活動をしてもらって、報酬というのをどれぐらい払っているのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

金額ですか。少々お待ちください。

資料を持ち合わせておりませんので、後刻の答弁としたいのですが、よろしいですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

氷室委員。

4 番（氷室裕史君）

同じページの平泉スマートインターチェンジ駐車場活用イベント開催支援事業、主要成果報告書によると5件イベントがあったと思いますが、どういったイベントだったのか。それと実際イベントを行った方から、またやりたいみたいな声があったのか、そういうフィードバックがありましたら伺いたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

平泉スマートインターチェンジの駐車場活用イベント支援事業でございますけれども、140万円で5事業ございました。その中には、令和4年から実績あるJAFのオートレースは2回開催しております。あとはキッチンカー、秋田犬の品評会、3 on 3のバスケットボール大会の5事業でございます。特にJAFのオートレース、秋田犬の品評会につきましては、毎年やりたいというような意向は受けております。今年度も大分予算も消化しておりますけれども、オートレースとか秋田犬の品評会の分は今年も開催をしているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

氷室委員。

4 番（氷室裕史君）

承知しました。

蛇足になりますけれども、そういったイベントをしっかりとやっているということ、今後ともしっかりと周知していただければと思います。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

114ページの取引支援促進事業補助金ですけれども、成果報告の95ページです。

前年の1件から5件に増えたと、72万9,000円ほどですが、取引が増えたというような記述もあるようなのですが、実際どのくらい増えているものなのでしょうか、伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

令和5年度の平泉町取引支援促進事業につきましては5件で、金額で72万9,949円ということで、昨年度は20万円ということで、件数は少なかったのであります。令和5年度につきましては、東京のほうでいろんなイベント等が開催され、町内のお菓子屋さんとか、いろんな商店の方が県外に出向いて、販売促進や情報交換の場としていろいろ取り組みたいというようなところで積極的に活用しております。結果的に5件で72万9,000円というような実績となっております。令和5年から増えている状況でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

118ページ、平泉観光推進実行委員会事業補助ということで、パンフレットを新たにタイ語とか、これは繁体字というのですか、日本語以外でつくっているわけです。この活用というのはどういうふうになっているのか、まず伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

観光ガイドパンフレットも、海外向けの英語、タイ語、繁体字、簡体字、日本語もですけれども、毎年更新をして最新版を作っております。

この活用方法でありますけれども、日本語につきましては、県内や全国的な観光施設に配架をしているところでございますし、海外向けについても必要なところに郵送したり、先ほどの海外のプロモーション等でも活用しておりますので、広くそういったパンフレットを活用して配布をしているという状況でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

観光事業に関わってですけれども、成果報告96ページに令和5年度の観光客の入り込みが載っていましたが、3月が非常に大きく伸びて、春の藤原まつり、その辺は減っています。この間ずっ

とたしか、冬場、秋とか増えてきたというふうに記憶しているのですが、こういった点でこれはどういう、背景としては何が考えられるか伺います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

主要施策の96ページになりますけれども、令和5年の入り込みは、年間合計で153万人ということで、コロナ前と比べると7割、8割ぐらいまでは回復しているというような状況でございます。

月ごとに見ますと、1月は多いですし、一番多いのは当然5月、月ごとにまちまちであります。令和5年からコロナ禍も大分回復しまして、町内でもコロナ禍前と同じようなイベントもやっておりますので、それで増えているという状況でございます。特に5月は藤原まつりもあって、天気に恵まれまして増えているという状況でございます。

いずれ、これは暦年でやっておりますが、令和6年も順調に推移しておりますので、昨年よりも若干増えるような形で推移しているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

3月が2万6,000人、それから11月が2万8,000人、結構大きく増えているのです。そういう点では、その辺の分析というのですか、引き続きしていただきたいなと思います。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

114ページ、2目の商工業振興費、18節の負担金補助及び交付金であります。消費生活相談等事務委託負担金の内容についてお知らせいたします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

この消費生活相談事業委託負担金83万8,344円でありますけれども、これにつきましては一関市消費生活センターに委託しております。令和5年の町民の相談件数については28件、金額が83万8,000円ということになっております。近年は詐欺とかいろんな形で、そういったSNSを使っているところが多いわけですが、そういった相談も増えているというふうに聞いております。当然一関のほうでも増えておりますので、全体的に近年は増えているという状況でございますので、いずれ一関市に委託している部分でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

相談の案件の内容ですが、それは一関の窓口のほうから情報としてのフィードバックがあるということですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

作業を委託しておりますので、その実績ということでは来ていると思うのですが、内容としては先ほど申し上げたとおり、いろんな形の詐欺まがいの勧誘があるというようなところで相談とか、そういったものが多いというふうに聞いております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

一関との負担の割合はどのような感じになっていますか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

近年の状況を見ますと、大体80万前後で推移しておりまして、去年は28件で83万8,000円ですが、いずれこれは件数の実績によって、実際の経費で割り返して算定しているというものでございますので、そういった負担割合になっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

116ページ、4目の観光振興費の中の18節負担金補助及び交付金であります。世界遺産連携推進実行委員会の会費負担500万円、これの事業実績はどのような形になっているのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

世界遺産連携推進実行委員会でありまして、まず構成員としまして平泉町、一関市、奥州市、県南局、それに観光・商工に携わる方ということで観光協会、商工会、行政で組織をしております。

これにつきましては、県、一関市、奥州市も負担金はあるわけですが、当町では500万円となっております。

主要成果報告の97ページにもございますが、3つの事業をやっております。観光コンテンツ魅力向上・周遊促進事業として、プロポーザルで業者を選定いたしまして、周遊促進の事業を展開してもらっているところでございます。国内主要市場誘客事業も展開しており、PR事業になります。国外での、先ほどもお話ししましたがタイを中心としたPR活動ということで、世界遺産

連携で取り組んでおります。

以上です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真筆委員。

7 番（真筆光幸君）

この項目別でどのぐらいかかっているかが全く見えませんが、これ総額、どのぐらいの規模の金額になるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

決算書、主要成果報告にも町の負担金500万円しか計上はしておりませんが、先ほどお話ししたとおり一関市、奥州市、県南局でも負担金がございますので、総額は、資料持ち合わせておりませんが、1,000万円前後の予算規模となっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真筆委員。

7 番（真筆光幸君）

では次に、118ページの18節負担金補助及び交付金であります。これも毎年固定化された支出になるわけですけれども、駅なか案内所の運営費補助金であります。これの令和5年度の案内実績はどのような形になっているのか、把握はされておるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

駅なか案内所運営費補助金ということで250万円補助しておりますが、これは主に人件費でございます。

観光協会のは来ているのですけれども、駅なかのほうは確認をさせていただきたいと思いますので、これも後刻の答弁でよろしいでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真筆委員。

7 番（真筆光幸君）

これはガイドの会の運営ですよね。そこからの報告書というのは来るのでしょうか。この助成に対しての1日平均だったり、何を案内したとかという実績については報告が上がることになっているのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

それも含めて、確認をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員、後刻の答弁でよろしいですか。

7 番（真竈光幸君）

はい。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

114ページの18節負担金補助及び交付金の中のエネルギー価格高騰対策負担緩和支援金790万円とあるのですが、成果報告書の94ページで、この金額が若干違うのですけれども、824万2,960円になっております。これ、何で違うのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

エネルギー価格高騰対策負担緩和支援金で、決算書の790万円と主要成果の824万円の違いでございますが、実際に支援したのが790万円でございます。そのほかに商工会の売上減少等認定事務委託料ということで、12節委託料にございます33万9,000円、11節役務費の振込手数料3,960円、それを合わせると824万2,960円ということになります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午後 2時11分

再開 午後 2時23分

決算審査特別委員長（升沢博子君）

再開をいたします。

先ほど大友委員からの質疑に対し、保健センター所長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

菅野保健センター所長。

保健センター所長（菅野文子君）

先ほどご質問のありました決算書94ページ、10節需用費の修繕料の内訳についてですが、保健センター内のロビーの電気の修繕代、それから定期点検に係る修繕ということで車の修理代と、保健センターの自動ドアの点検、保守、修繕料などになっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に氷室委員及び真篋委員からの質疑に対しまして、観光商工課長から発言の申し出がありましたので、これを許可します。

菊地観光商工課長。

観光商工課長（菊地隆一君）

まず、タイの部分でありますけれども、令和5年度、観光推進実行委員会と世界遺産連携、両方で取り組んでいる部分であります。観光推進実行委員会のほうは旅費等で実際36万5,000円ほどかかっております。世界遺産連携のほうで、ブースの出展料、旅費等々で274万円となっております。

全体の事業費は、平泉町で500万円、奥州市、一関市でそれぞれ150万円、県南局で361万円ということで、決算額で1,180万円ほどとなっておりますのでございます。

続きまして、駅なか案内所運営費補助金の件でありますけれども、250万円の補助金の中身は駅なかの1人の人件費の補助というようなところでございますので、その実績表は来ております。最終的に決算額で295万5,837円という実績がございます。それに対しまして、町で250万円補助ということで、駅なかガイドの会の持ち出しが45万5,837円という決算になっております。

利用者でございますが、暦年となっておりますので1月から12月までの駅なかの利用実績、相談件数でありますけれども、年間9,094人となっております。

以上になります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

それでは、次に117ページから129ページまでの8款土木費についてご発言願います。

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

120ページでありますけれども、1項1目18節の街路灯ランプLED化修繕工事費補助金81万2,900円でありますけれども、これは毛越寺通りの修繕費であろうかと思えます。実は街灯組合連合会の解散も、これが1つの原因だったわけです。年間28万円の街灯利用電気料がかかったので、とてもこれはやっていけないということで、やめたいということで、連合会もそれを受けて、何ともしようがないから解散するかという、そういう話になってしまったわけです。

今回LED化するというので、大分安くなるのですけれども、いくらくらいになる予定ですか、その点をお聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

電気料が安くなる、どれくらいになるのかということでよろしいのでしょうか。

組合の決算書を見せていただいたのですけれども、月々1万円ぐらい今、安くなっているようでした。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

そうすると年間12万円ぐらいですね。

今、30万円ほど補助をしておるわけですが、LED化するということは前々から言っていたことでありまして、駅前通りは自分たちで全部やったわけですが、毛越寺通りに関しては町でやったという、それはそれとしていいことなのですが、やはり街灯組合という会を残してほしいという話は前からありました。この前、総会がありまして、どうも役員の会ということで、残しておくということになったようであります。

ただ、組合の方々は全て解散するということですが、そういうことでもいいとは思いますが、今までの会とは違うということなので、役場のもくろみと少し違うんじゃないかという気がしたわけですが、その点に関してお聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小野寺建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

今年、役員の方が見えられて、そういった相談も受けましたけれども、できれば会を残してやってほしいという話はしたのですが、成り立たないというかできないというような話を受けているところでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

できないということよりも、普通ならば電気料からみんな賄ってもらったのですから、会を残しておいてやってほしいという話だったのですが、そういうふうにはできなくなったということで、それはそれとして仕方ないのかなという思いもしております。

しかし、やっぱり役場関係とすれば、会を残しておいて、そしていろんな格好でコミュニケーションを取れるような状況が欲しいという、そういう思惑があったのだと思います。ですので、本来ならば、私もその場にいたのですが、そのようにやってほしいという話合いやったのですが、どうもそういうようにはいかなかったようであります。

いずれLED化をやったということは、大変いい形になってきたなという思いはしております。次の件に関して質問したいと思います。

124ページ3目12節でありますけれども、町道衣関線測量設計業務委託料ですが、これが既に終わったということでありまして、工事そのものは、これはいつ頃から始まっていくのでしょうか。やはり観光地であるために、なかなかスムーズにはいかないだろうが、やらなければいけないということですので、いつ頃からやり始めるのかお伺いしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

今年度から工事のほうは予定しております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

今年度からということですが、今年度のいつ頃からやるのですかという話です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

電線地中化工事として、県のほうでも発注して、一緒にやるような形のところもあるので、調整ですけれども、10月、11月ぐらいからスタートになると思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

10月頃からだと、観光地が一番忙しい時期でありますので難しいかなという思いがしております。11月から始まるならばいいかと思っておりますけれども、観光地である以上、それに配慮したやり方をしていかないと、周辺の方々とも重々話して、そして進めていただきたいと、そのように思います。

それから、130ページですけれども、14節工事請負費の高田前団地排水設備工事でありますけれども、この工事に4,422万円かかったということですが、何件を工事したということでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

これは高田前住宅の18戸の、ユニットバスと下水道の水洗化工事を行いました。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

今の入居戸数が57戸、まだまだ工事する必要があるのでしょうか。これからそのような形で進めていくのでしょうか。そのときは何戸ぐらい目標にやっているのですか。全部直すわけではないかと思っておりますけれども。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

一応、70戸を直す予定ですが、補助金のつき具合で、予定より延びている状況ですが、再来年ぐらいまでかかってやる形です。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

70戸というと、今の中ではほとんど直すような格好になりますか。全部で94戸あるわけですが、使えない部分もあろうかと思えます。そのうちの70戸であれば、まずまずいいのかなという思いはしております。

今回直したのが18戸、四千幾らですが、1戸当たり240万円ぐらいかかるということですが、これに関しては入札などしておるのですか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

入札により業者が決まっております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

普通の家に建てるようなバスとトイレですが、やはり240万円くらいだと、一般的につくるときにもそのぐらいかかるわけですよ。私から見ますと高いのではないかという思いもするわけなのです。

そういう意味では、もう一回、高いのかどうかということをお聞きしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

特にユニットバスですけれども、ユニットバスについては壊さないで、既存のある中に埋め込んでおります。解体費がかからない工事を取っていますが、それが高いのか安いのか、解体費が無い分、安いのではないのかと思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

佐藤委員。

9 番（佐藤孝悟君）

直したのはいいのですが、家賃は高くなるのですか。今までどおりの金額であれば、そのとおりでいいかと思えますけれども。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

家賃は、600円から1,100円ぐらい、直したことによって高くなります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

小笠寺委員。

1 番（小笠寺享君）

初歩的な質問ですけれども、119ページの2項道路橋梁費の不用額が1,582万7,593円あるので

すが、多分原因とすれば122ページ、2目道路維持費の12節委託費が一番の原因かとは思われるのですが、その原因となった理由をお伺いしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

除雪委託費になります。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

122ページ、14節工事請負費ですけれども、ウォーキングトレイル修繕工事の進捗状況について、ちなみに成果報告は101ページです。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

ウォーキングトレイルの修繕工事費についてですけれども、木橋だったり、木の道路ですので毎年悪くなるということで、毎年120万円ずつの予算で悪いところを直している状況でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

三枚山委員。

6 番（三枚山光裕君）

27.6平米というと、実際距離で、距離というか長さでいうとどのくらいになるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

大体15メートルぐらいでございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

126ページ、4目都市計画費ですけれども、18節負担金補助及び交付金の中のバリアフリー住宅改修事業補助金ですけれども、成果報告書の104ページには1件、10万円と書かれておりますけれども、少ないような気がするのですが検証等はしたのでしょうか。一関市のように、やっぱり住宅リフォームみたいな形のほうがよかったのかなと思ってはいるのですが、どういうふうな検証だったのかなと思ひまして。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

建設水道課長。

建設水道課長（小野寺敏彦君）

1件と少ないわけですが、今後もう少し宣伝をするような活動も含めていきたいと思っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、129ページから133ページまでの9款消防費についてご発言願います。

小笠寺委員。

1 番（小笠寺享君）

先ほどと同じような感じになりますけれども、131ページの9款消防費1項消防費、3目消防施設費の不用額として661万7,942円とあるわけですが、防災無線の受信できない戸別のところをございまして、そちらのほうに対応費として流用というか講ずることはできなかったのか、その点だけお伺いしたいと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

防災無線の対応経費につきましては、14節の工事請負費の戸別受信機のダイポールアンテナ設置工事費ということで、受信が思わしくない電波不良の戸別に調査した上での対応をさせていただいておりますので、この661万7,942円は3目消防施設費全体の不用額となりますので、そのように戸別受信機のデジタル化対応に関する経費については予算を執行しているというふうにご理解いただきたいというふうに思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

132ページの2目18節負担金補助及び交付金の中の婦人消防協力隊活動補助金25万6,000円ですが、毎回私、質問しているのですが、予算が34万7,000円で減額されています。その後の要望とかはないのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

婦人消防協力隊活動補助金25万6,000円ですが、予算に比較して決算額が減額されているということですが、これは減額ではなくて、実績に応じて補助金を交付しております。

こちらは運営費補助ではなくて、実際に活動した実績に合わせて補助しております。内容につきましては、訓練、出勤に関する、例えば規律訓練等も含めてですが、そういったことでの対応であったり、各研修を行っておりまして、研修参加に係る経費というのが今回ありました。コロナが5類になりましたから、これまで規律訓練とか研修も行ってこなかった中で、徐々にい

ろんな活動を、婦人消防協力隊の皆様にもボランティアという中で、忙しい家庭との両立を図っていただきながら活動に参加していただいて本当に感謝しています。そういった中で要望に応じて、活動計画を、今月にも幹部会等がありますので、しっかりとその辺は要望を伺いながら事業計画をしっかりと立てて、婦人消防協力隊の組織が強化できるように、研修会等も含めて企画運営してまいりたいというふうに思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

成果報告を見ると、198名と載っていました。1月の出初め式のときに参加した方にのみ、この活動費というのは配付になるのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

岩淵総務課長。

総務課長（岩淵嘉之君）

今のご質問は、文化財防火訓練に婦人消防協力隊が分列行進に参加した際の手当ということですが、1人当たり1,000円という額で支給されております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員、よろしいですか。

（「はい」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、133ページから149ページまでの10款教育費、1項教育総務費から10款教育費、4項幼稚園費についてご発言願います。

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

148ページの19節の扶助費になりますが、中学校の就学援助費の中の特別支援教育就学奨励費がありますが、これは該当するのは何人でいらっしゃいましたか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

こちらの148ページの扶助費の特別支援教育就学奨励費につきましては、特別支援学級に在籍する方を対象としておりまして、手元に資料を持ち合わせておりませんので、後刻の報告とさせていただきますと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真竈委員。

7 番（真竈光幸君）

あわせて、令和4年度分との比較を数字でお願いします。

次に148ページ、11節役務費がありますが、検定手数料、英検だと思いますが、これの令和5年度の申込者数と検定の結果についてお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

英語検定の昨年度の数につきましては、全校生徒を対象としてございまして、令和5年度としての目標を、当町は文部科学省でも示しているとおおり3級以上取得の生徒の割合を60%という目標を持っているところではございます。これは卒業時というようなところではございますが、3級以上取得は、全校生徒の割合でいきますと172名中24名、14%が3級以上を取得しています。うち3年生、卒業時で57名中14名、24.6%の3級以上の割合となっております。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

136ページ、報償費のスクールガードリーダー謝金38万3,000円でありますけれども、これは何人に対してなのかということと、人数としては足りているのでしょうか、併せてお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

スクールガードの人数につきましては、それぞれ平泉小学校区、長島小学校区でお願いしてございますが、それぞれ合わせると40名ぐらいだったかなと思います。手元に資料がございませんので、後刻の報告とさせていただければと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員、後刻の答弁でよろしいですか。

（「はい」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

大友委員。

3 番（大友仁子君）

150ページの22節償還金利子及び割引料の給食費過誤納還付金50万4,000円ですけれども、これの件数と、その経緯をお願いします。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

給食費過誤納還付金50万4,000円の経緯と内訳というようなところではございますが、こちらに

つきましては昨年度、幼児教育の無償化の副食費の関係で、教育委員会のほうでシステムの設定誤りによりまして、本来無償となるはずの3人目以降の児童に誤って請求をし、納付頂いていたというようなところで、これに対しまして還付といえますか、返金が必要となったというようなところがございます。

この内容につきましては、令和元年度の10月から副食費につきましては第3子の無償化を町の方針でしたところございまして、国の方針と異なりまして、世帯全ての子供の第3子以降を対象としたというようなところがございます。

この経緯でございますが、幼児教育の無償化の資料等の作成中に、過去の副食費の確認を行った際に過誤納が発覚しました。システム導入が令和2年度からございまして、令和元年度10月から令和2年3月までは手入力で行ってございまして、こちらの分は問題なく処理されておりました。令和2年度からのシステム導入後、第3子に対する要件の設定や世帯の状況の確認が不十分であったというようなことで、これまで過誤納に気づかず、4年間の歳月が経過してしまったというところがございます。

内容につきましては、対象児童は町立幼稚園に在籍していた第3子以降の児童で、過年度分の令和2年度から令和4年度分が8名、現年度分の令和5年度分もございまして、そちらが2名でございます。過誤納付金につきましては、それぞれの世帯によって金額が違いますが、50万4,000円となっております。

今回の誤納つきましては、システムの設定の誤りと、世帯状況の確認がまず不十分であったところが原因でございますので、今後は対象児童の世帯状況を詳細に確認しながら、システムの入力等を担当が代わっても分かりやすいように事務マニュアル等を作成しながら、今後、職員への事務処理に関する教育の強化を行いながら、同様の誤りを防いでいきたいと考えてございます。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにご発言ございますか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

次に、149ページから163ページまでの10款教育費、5項社会教育費及び10款教育費、6項保健体育費についてご発言をお願いします。

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

152ページ、7節報償費ですけれども、地域教育コーディネーター謝金でありますけれども、昨年度より80万円ぐらい増えております。この理由を教えてくださいたいと思います。人数が増えたのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

地域教育コーディネーター謝金の増額分でございますが、令和4年度までにおきましては、拠点校といたしまして平泉小学校、長島小学校に2名配置していたところでございますが、令和5年度から、コミュニティスクール等も令和4年度からスタートしたところでもございますので、そのような観点から平泉中学校にも1名配置して、計3名の地域コーディネーターを配置したという状況でございます。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

阿部委員。

5 番（阿部圭二君）

12節委託料の中の研修旅行手配業務委託料ですが、これは今までなかったのですが、何か特別な形なのでしょうか。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

千葉教育次長。

教育次長（千葉数馬君）

こちらの研修旅行手配業務委託料112万4,580円ですが、これまで人材育成という観点から、黄金平泉情報発信プロジェクト事業をこれまで実施してきたところではございますが、コロナの影響によりまして、コロナ禍以降、実施してこなかったという状況でございました。昨年度、コロナが5類に移行したこともございまして、昨年度は、東京都の小笠原村に5泊6日で、平泉小学校6年生2名、長島小学校6年生2名、平泉中学校2年生2名を派遣いたしまして、小笠原村の児童生徒と交流事業等を行ってきたというような状況でございます。

以上でございます。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真籠光幸君）

154ページの文化遺産センターについてお伺いしますが、5項の2目文化遺産センター費で、10節需用費の中の修繕料ですが、191万3,670円、これの内訳といたしますか、整備内容についてお知らせください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

需用費の修繕料の内容につきましては、昨年度、展示室に3つ、中尊寺、毛越寺、無量光院と、展示のディスプレイがございまして、その中尊寺の部分の中に入っているパソコンのディスプレイが故障したため、その交換というふうになります。あとは整理室のLED交換工事ということを行っております。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

真籠委員。

7 番（真竈光幸君）

160ページの10款5項4目24節の世界遺産推進基金積立金であります。主要成果で128ページにその内訳は書いてございますが、販売機と募金の金額別と申しますか、販売機が幾ら、募金が幾らというふうに分かれるのか、もし分かれば教えてください。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

高橋文化遺産センター館長。

平泉文化遺産センター館長（高橋国博君）

推進基金等の内訳ということでございましたが、今、委員からご指摘のとおり、基金の内訳につきましては、庁内に設置する自動販売機の売上げの一部と、推進協議会で文化遺産センターとガイダンスセンターに募金箱を設置してございますので、その募金箱による寄附金が主な基金ということになってございます。

昨年度は記載のとおり30万8,000円ということでしたが、ここ数年は20万円ほどで推移しているという状況でございます。

その内容につきましては、資料を持ち合わせておりませんので、後刻ということにさせていただきますと思います。

決算審査特別委員長（升沢博子君）

後刻の報告ということでよろしいですか。

（「はい」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

ほかにございませんか。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

進行いたします。

次に、163ページから166ページまでの11款災害復旧費、12款公債費、13款諸支出金、14款予備費についてご発言願います。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

それでは、これで歳出の質疑を終わります。

次に、230ページから240ページまでの財産に関する調書、定額資金を運用するための基金の運用状況に関する調書についてご発言をお願いいたします。

（「進行」の声あり）

決算審査特別委員長（升沢博子君）

以上で本日の日程は終了いたしました。

なお、次の本委員会は、明日12日午前10時から行います。

皆様、ご起立をお願いします。

本日はこれで散会いたします。

ご苦労さまでした。

散会 午後 3時08分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

決算審査特別委員長 升 沢 博 子